
ハグルマまわれ

50メートル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

「PDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ハグルマまれ

【Zコード】

Z0377Z

【作者名】

50メートル

【あらすじ】

俺（稻月佳）の通う高校では『異能力』と呼ばれるものを開発している。

その能力から始まる（のか？）

よく分らないSF物語と言つ名の「ちやんちやん」としてストーリー。（多分、2話あたりから女の子アンドロイドも出てきまぁ）

(前書き)

初めて長編を書きます。
よかつたら最後までお付き合ってください。

俺（稻月 佳）の学校には月に2回、体力測定がある。

しかし、普通の体力測定ではない。むしろ体力測定と言つた方が間違つているのかもしれない。

月に2回という数の多さは短期間ですぐに伸びる可能性があるとう理由からである。

これ以上その『体力測定』の内容も明かさずに説明を続けるとややこしくなるので、

簡単にまとめると

異能力測定である。

なぜこんな科学万歳の日本の中にある俺の学校でこんな測定が行われているかと言つと、

実際に異能力を開発しているからである。

異能力とは、ゲームや漫画に出てくる何でも有りな超能力じやなくつて、

自然の力（風、水、光、日、雷、温度、磁力、重力）を操る力のことだ。

しかもその自然の力の元が無い（砂漠のど真ん中など）では能力（水など）を操ることは出来ない。

元からある物を自在に操るだけの力であつて、何も無いところで力を使おうとしても操る物が無いのだから能力を使えるはずが無い。異能力は所詮便利なだけであつて万能ではないのだ。

例えば、水不足で困つている砂漠に住む人たちに水を上げよつと思つても、

水を生み出すことは出来ない。

しかし、日本に降る大雨を能力を使って集めれば砂漠に持つていく

ことが出来る。

使い道を考えればかなり便利な代物である。

と、いくら能力の説明をしたって俺は使い道の無い『ロランク』に替わりは無い。

また説明すると、異能力はその便利さによってランク付けされる。

『Fランク』は、能力が全く使えないというランクだが、

今の所、開発を受けてる奴で『Fランク』は居ない。

『ロランク』は俺の属するランクで、少し能力のかけらは見えるが

実用には至らないランク。

学校の中の20%がこのランクだ。

何でも研究所の人があつには 原石 らしい。

しかもダイヤモンドの。 · · よく分らないが。

『ヒランク』日常生活にチマッと利用できるぐらい（ケシカスを飛ばすなど）で、

学校の30%だ。

『Bランク』このあたりになると結構便利（掃除は手を使わないでもOKなぐらい）で、

このランクが一番多く40%だ。

おかげでウチの学校の授業は基本能力使用可になつていて不公平だ。

特に体育とか。

『Aランク』残りのほとんどがこのランク。

本気で能力を使うのは禁止されているぐらい強力な物となつてくる。

『Sランク』学校の中に5人しか居ない最高ランクで、たまに警察の協力要請が

来るとか。

このランクの人人が本気で能力を使うと台風並みか

それ以上の被害になるらしい。

つと、こんなもんだ。ちなみに俺の能力は水と風だが、飛んでくる葉っぱを1mm動かす程度のものだ。

まあ、能力は成績には直接は入らないのでまああまり気にしない。

何故、ウチの学校（普通の県立の高校、一学年5クラスの普通の高校）がこんなすごい開発をしているのかと言つと、

校長の娘がこの異能力の研究所の所長だからだ。

後、能力の事はハッキリとは公にされていないので学校の敷地外ではあまり能力を使つてはいけない事になつていて

（と言つても近所の人は完璧に知つていて、多分県内の人だつたら皆知つていてると思うが、なぜクラス数が多くないのかと言つと、能力開発を始めた次の年、入学希望者数がありえないほど増えたため今では能力目当てとすぐ分るような人の入学はお断りしているからだ。

それに、自分で言つのも何だが、こここの高校の偏差値は少々お高めになつているのも原因かも知れない）

あつ、明日は6月の前期の体力測定だなあ。

……このときだけは俺もDランクであることを恨めしく思つ。

(後書き)

もし、誤字、脱字があれば教えて下さい。
出来るだけ1週間に一回更新したいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0377z/>

ハグルマまわれ

2011年12月1日15時54分発行